

技術・家庭科(技術分野) 内容系統配列一覧表

※小学校社会は社、算数は算、理科は理、生活科は生、図画工作は図、総合的な学習の時間は総で表記

期	I 期				II 期		III 期		
目標	区分目標				区分目標		区分目標 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってより良い生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。		
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
A 材 技 術 と 加 工 の			<div data-bbox="537 533 795 632">図 A(2)表現 材料や用具</div> <div data-bbox="537 659 795 898">(2)ア・イ 木切れ、 板材、釘、水彩絵 の具、小刀、使い やすいのこぎり、金 づちなどを用いる こと</div>		<div data-bbox="1228 533 1457 632">図 A(2)表現 材料や用具</div> <div data-bbox="1228 659 1576 758">(2)ア・イ 針金、糸のこぎり などを用いること</div> <div data-bbox="1228 785 1576 842">理 A(3)てこの規則性</div> <div data-bbox="1228 869 1576 968">(3)ア(イ) 身の回りには てこの規則性を利用した道 具があることを理解するこ</div> <div data-bbox="1228 1037 1457 1094">算 B(1)図形</div> <div data-bbox="1228 1142 1576 1199">(1)ア(ア) 縮図・拡大図</div>	<div data-bbox="1614 533 1991 590">(1) 生活や社会を支える材料と 加工の技術</div> <div data-bbox="1614 617 1991 758">(ア) 材料や加工の特性等の原理・ 法則と材料の製造・加工方法等の 基礎的な技術の仕組みについて理 解すること</div> <div data-bbox="1614 785 1991 842">(イ) 技術に込められた問題解決の 工夫について考えること</div> <div data-bbox="1614 1037 1991 1094">(2) 材料と加工の技術による問 題の解決</div> <div data-bbox="1614 1142 1991 1199">(ア) 製作に必要な図をかき、安 全・適切な製作や検査・点検等がで</div> <div data-bbox="1614 1268 1991 1409">(イ) 問題を見いだして課題を設定 し、材料の選択や成形の方法等を 構想して設計を具体化するとともに、 製作の過程や結果の評価、改善及 び修正について考えること</div> <div data-bbox="1614 1541 1991 1598">(3) 社会の発展と材料と加工の 技術</div> <div data-bbox="1614 1625 1991 1724">(ア) 生活や社会、環境との関わり を踏まえて、技術の概念を理解する こと</div> <div data-bbox="1614 1751 1991 1871">(イ) 技術を評価し、適切な選択と 管理・運用の在り方や、新たな発想 に基づく改良と応用について考える こと</div>			
			<div data-bbox="388 1037 647 1094">算 C(1)量と測定</div> <div data-bbox="388 1121 647 1199">(1)ア(ア) 長さの 単位(mm、cm、m)</div>		<div data-bbox="842 1268 1190 1367">社 (5)我が国の国土の自 然などの様子</div> <div data-bbox="842 1394 1190 1493">ア(イ) 森林資源の育成や 保護に従事している人々の 工夫や努力</div> <div data-bbox="842 1520 1190 1619">イ(イ) 国土の保全などの ための森林資源の働き及 び自然災害の防止</div> <div data-bbox="842 1646 1190 1745">イ(ウ) 公害からの国民の 健康や生活環境を守ること の大切さ(大気汚染・水質 汚染)</div>				

期	I 期				II 期		III 期				
目標	区分目標				区分目標		区分目標 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってより良い生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。				
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年		
B 技術 生物育成の	<p>生 (6) 動植物の飼育・栽培 動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする モルモット、アサガオ、キュウリなど</p>				<p>理 B(1) 植物の発芽、成長、結実</p> <p>(1)ア(ウ) 植物の育て方には一定の順序があり、その体は根、茎及び葉からできている</p> <p>(1)ア(ア) 植物は種子の中の養分を基に発芽する</p> <p>(1)ア(イ) 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係している</p> <p>(1)ア(ウ) 植物の成長には、日光や肥料などが関係している</p> <p>(1)ア(エ) 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができる</p>		<p>理 B(2) 植物の養分と水の通り道</p> <p>(2)ア(ア) 植物の葉に日光が当たるとでんぷんができる</p> <p>(2)ア(イ) 根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸発している</p>		<p>(1) 生活や社会を支える生物育成の技術</p> <p>(ア) 育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること</p> <p>(イ) 技術に込められた問題解決の工夫について考えること</p> <p>(2) 生物育成の技術による問題の解決</p> <p>(ア) 安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができること</p> <p>(イ) 問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること</p> <p>(3) 社会の発展と生物育成の技術</p> <p>(ア) 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること</p> <p>(イ) 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること</p>		
	<p>理 B(1) 身の回りの生物</p> <p>理 B(2) 季節と生物</p> <p>(2)ア(ア) 動物の活動は暖かい季節、寒い季節などによって違いがある</p> <p>(2)ア(イ) 植物の成長は暖かい季節、寒い季節などによって違いがある</p>				<p>社 (2) 我が国の農業や水産業</p> <p>(2)ア(イ) 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など</p> <p>(2)イ(イ) 食料生産に従事している人々の工夫や努力(稲作、野菜、果物、畜産物、水産物)</p>		<p>理 B(3) 生物と環境</p> <p>(3)ア(ア) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きている</p> <p>(3)イ 生物と環境について追及する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること</p>				



期	I 期				II 期		III 期		
目標	区分目標				区分目標		区分目標 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってより良い生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。		
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
D 情報の技術			<p>国 1(1)言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>ウ 日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと</p>		<p>社 (4) 我が国の産業と情報との関わり</p> <p>ア(イ) 情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること</p> <p>イ(イ) 情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること</p>		<p>(1) 生活や社会を支える情報の技術</p> <p>ア 情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解すること</p> <p>イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること</p>	<p>(2) ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決</p> <p>ア 情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができること</p> <p>イ 問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法等を構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること</p>	<p>(3) 計測・制御のプログラミングによる問題の解決</p> <p>ア 計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができること</p> <p>イ 問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること</p>
					<p>総 調べ学習 内容の取扱い(3)</p> <p>探究的な学習の過程においては、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信するなどの学習活動が行われるよう工夫すること。その際、コンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得し、情報や情報手段を主体的に選択し活用できるよう配慮すること</p>				<p>(4) 社会の発展と情報の技術</p> <p>ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること</p> <p>イ 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること</p>